

オール・カンントリー 好配当リバランスオープン (資産成長型)

追加型投信／内外／株式

作成対象期間：2024年9月27日～2025年7月23日

交付運用報告書

第1期(決算日2025年7月23日)

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「オール・カンントリー好配当リバランスオープン(資産成長型)」は、このたび、第1期の決算を行いました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、世界の高配当株戦略の投資成果を反映したクロッキー・オール・カンントリー高配当株指数(円ベース)のリターンを享受することを目指し、投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第1期末(2025年7月23日)

基準価額	10,039円
純資産総額	5,667百万円
第1期	
騰落率	0.4%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、SBI岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

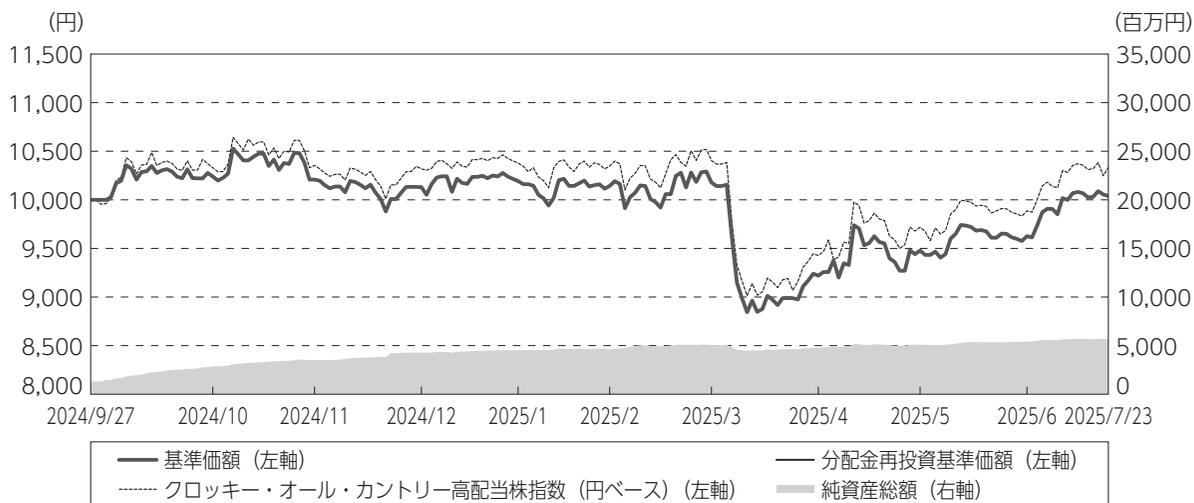
■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ
03-3516-1300 (受付時間：営業日の9:00～17:00)

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2024年9月27日～2025年7月23日)



設定日：10,000円

期末：10,039円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率：0.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、クロッキー・オール・カンントリー高配当株指数(円ベース)です。参考指数は、当該日前営業日の現地終値です。なお、参考指数は、投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。(以下同じ。)
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、設定日(2024年9月27日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。(以下同じ。)

○基準価額の変動要因

当ファンドの主要投資対象は「Collis Trust-CROCI AC Dividend Equity Fund」です。「Collis Trust-CROCI AC Dividend Equity Fund」は主としてスワップ取引を通じて、「クロッキー・オール・カンントリー高配当株指数(円ベース)」のリターンを享受することを目指します。

以下は、「クロッキー・オール・カンントリー高配当株指数(円ベース)」の主なプラス要因およびマイナス要因を記載しております。

(主なプラス要因)

- ・業種別では、資本財・サービスなどが基準価額にプラス寄与しました。
- ・投資国別では、中国やルクセンブルクなどが基準価額にプラス寄与しました。
- ・銘柄別では、ペトロチャイナ（中国、エネルギー）やテナリス（ルクセンブルク、エネルギー）などが基準価額にプラス寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・業種別では、素材やヘルスケアなどが基準価額にマイナスに影響しました。
- ・投資国別では、米国やフランスなどが基準価額にマイナスに影響しました。
- ・銘柄別では、HP（米国、情報技術）やターゲット（米国、生活必需品）などが基準価額にマイナスに影響しました。

1万口当たりの費用明細

(2024年9月27日～2025年7月23日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	75 (22) (49) (3)	0.750 (0.226) (0.497) (0.027)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用)	1 (1)	0.011 (0.011)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	76	0.761	
期中の平均基準価額は、9,941円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

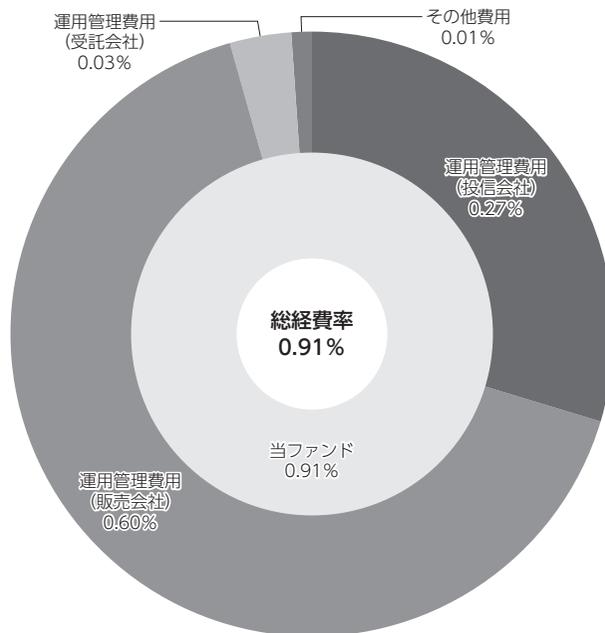
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.91%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	0.91
①当ファンドの費用の比率	0.91
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	—
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	—

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

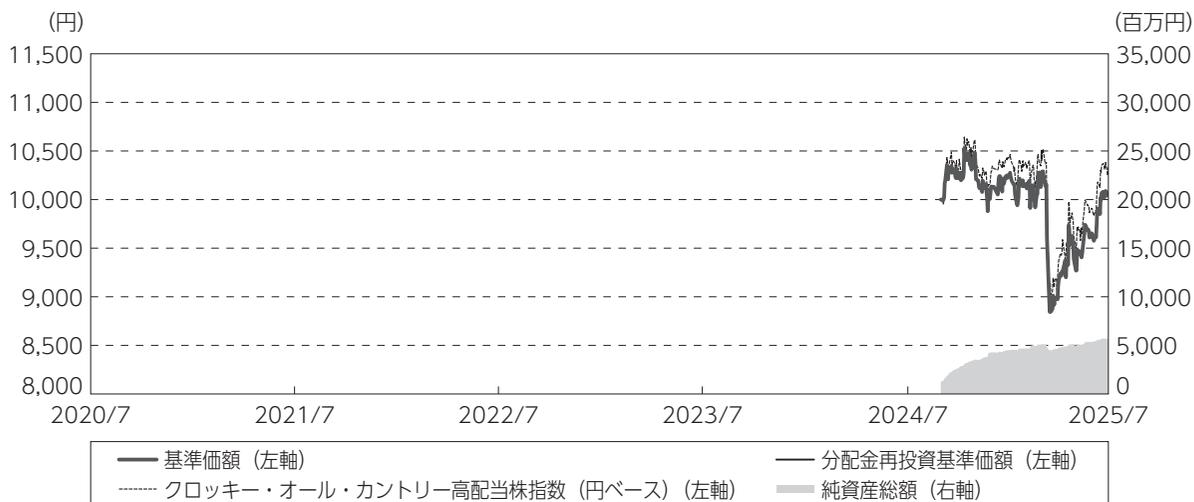
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの比率は、当運用報告書作成時点において、開示できる情報はありません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年7月27日～2025年7月23日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) クロッキー・オール・カンントリー高配当株指数(円ベース)は当ファンドの参考指数です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、設定日(2024年9月27日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2024年9月27日 設定日	2025年7月23日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,039
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	0.4
クロッキー・オール・カンントリー高配当株指数(円ベース)騰落率 (%)	—	3.3
純資産総額 (百万円)	1,314	5,667

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2025年7月23日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

(2024年9月27日～2025年7月23日)

米国株式市場は上昇しました。米国株式は、2024年9月下旬から2025年2月上旬にかけてはトランプ新政権による減税や規制緩和に対する期待から堅調に推移しました。2月中旬から4月上旬にかけてトランプ政権の関税政策への懸念から下落する場面が見られたものの、4月中旬以降は米政権が各国との通商交渉を重視する姿勢を示し、貿易摩擦への懸念が後退するなか、上昇する展開が7月中旬にかけて続きました。米国を除く先進国株式は、欧州では政治の不透明感や業績の悪化、日本では円高などが上値を抑えたほか、トランプ政権の関税政策への懸念から下落する局面が見られたものの、欧州中央銀行（ECB）の利下げや日本では経済対策への期待などが株価を下支えしました。新興国株式は、米ドル高が上値を抑えたものの、4月中旬以降は堅調に推移しました。

為替（米ドル/円）は、底堅い米国経済や米大統領・議会選挙に関する思惑などを背景に日米金利差の拡大が続いたことから、25年初頭にかけて上昇基調が鮮明となりました。しかしその後は、米国の景気悪化懸念が高まるなか、日銀の追加利上げ観測が強まったことなどから、米ドル/円は4月中旬にかけて下落しました。4月下旬から7月上旬にかけてもみ合った後、インフレ圧力の高まりを背景に米金利が上昇するなか、米ドル/円は上昇する展開となりました。

国内短期金融市場では、日銀の早期追加利上げへの観測が強まるなか、2025年1月には実際に利上げが実施されたことなどを受けて、1年国債利回りは3月にかけて大きく上昇（価格は下落）しました。その後、4月上旬にトランプ米政権による相互関税の発動などを背景に、利回りは一時的に上昇幅を縮小する場面も見られましたが、7月の参議院選挙で与党が過半数を割り込んだことや、日米間の関税交渉が合意に至ったことを受けて、1年国債利回りは再び上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2024年9月27日～2025年7月23日)

＜オール・カンントリー好配当リバランスオープン（資産成長型）＞

「Collis Trust-CROCI AC Dividend Equity Fund」、「マネー・リクイディティ・マザーファンド」を主要投資対象とし、「Collis Trust-CROCI AC Dividend Equity Fund」への投資を通じて、世界の高配当株戦略の投資成果を反映した「クロッキー・オール・カンントリー高配当株指数（円ベース）」のリターンを享受することを目指しました。「Collis Trust-CROCI AC Dividend Equity Fund」の組入比率は高位を維持しました。

○Collis Trust-CROCI AC Dividend Equity Fund

主として担保付スワップ取引を通じて、クロッキー・オール・カンントリー高配当株指数（円ベース）のリターンを享受することを目指しました。なお、2025年7月23日時点のクロッキー・オール・カンントリー高配当株指数の構成銘柄数は64銘柄、実績平均配当利回りは4.6%となりました。

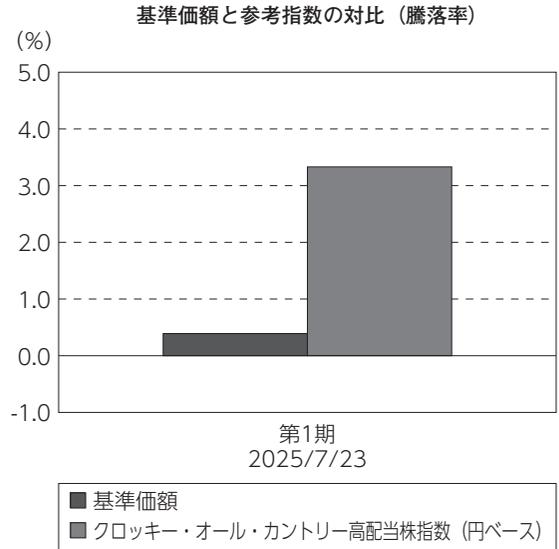
○マネー・リクイディティ・マザーファンド

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行いました。当期間中は、国債および政府保証債を組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年9月27日～2025年7月23日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

(注) 参考指数は、クロッキー・オール・カンントリー高配当株指数 (円ベース) です。

分配金

(2024年9月27日～2025年7月23日)

当期の分配金につきましては、分配方針に則り、基準価額水準等を勘案し、以下のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位:円、1万円当たり・税引前)

項 目	第1期
	2024年9月27日～ 2025年7月23日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	228

(注) 対基準価額比率は当期分配金 (税引前) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(投資環境)

○Collis Trust-CROCI AC Dividend Equity Fund

米国株式市場は堅調な展開が続くと見えています。慎重姿勢をとっていた投資家からの資金流入が継続することで、株価水準が切り上がっていく展開を想定しています。今後は、関税交渉への市場の注目度が低下し、企業業績への注目度が高まっていくと思われれます。米国企業の業績は堅調に推移すると見込まれるほか、金融緩和の再開や景気回復への期待もあり、株価の上昇基調が維持されると予想します。日本株式市場は、当年度において企業業績の減益が予想されるほか、バリュエーション面での割高感があることから当面は方向感に乏しい展開が予想されます。しかし、2025年末に向けては、来年度の景気や企業業績が回復に向かうという見通しや米国の利下げが支援材料となり、株価は堅調な展開になると考えています。欧州株式市場は、各国における財政拡張期待やECBがこれまで実施してきた利下げによる効果を背景に、堅調な推移が見込まれます。新興国株式市場は、中国の景気刺激策や貿易協定の進展期待を背景に、堅調な推移が見込まれます。

為替(米ドル/円)は、当面は円買いポジションの解消により、米ドル高が進行しやすいと見えています。米国と主要国との関税交渉の合意を受けて、米関税政策を警戒した「米ドル離れ」の緩和が見込まれることが背景です。ポジション調整が一巡した後は、日米金利差の縮小を反映して米ドル/円は下落に向かうと予想します。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

国内短期金融市場は、日銀による追加利上げ観測が残ることから、1年国債利回りには上昇圧力が掛かる展開を想定しています。

(運用方針)

<オール・カントリー好配当リバランスオープン(資産成長型)>

当ファンドの主要投資対象である「Collis Trust-CROCI AC Dividend Equity Fund」への投資を通じて、世界の高配当株戦略の投資成果を反映したクロッキー・オール・カントリー高配当株指数(円ベース)のリターンを享受することを目指します。当ファンドは、「Collis Trust-CROCI AC Dividend Equity Fund」の組入比率を高位に保つことを基本方針としています。

○Collis Trust-CROCI AC Dividend Equity Fund

主として担保付スワップ取引を通じて、クロッキー・オール・カントリー高配当株指数(円ベース)のリターンを享受することを目指します。

○マネー・リクイディティ・マザーファンド

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

お知らせ

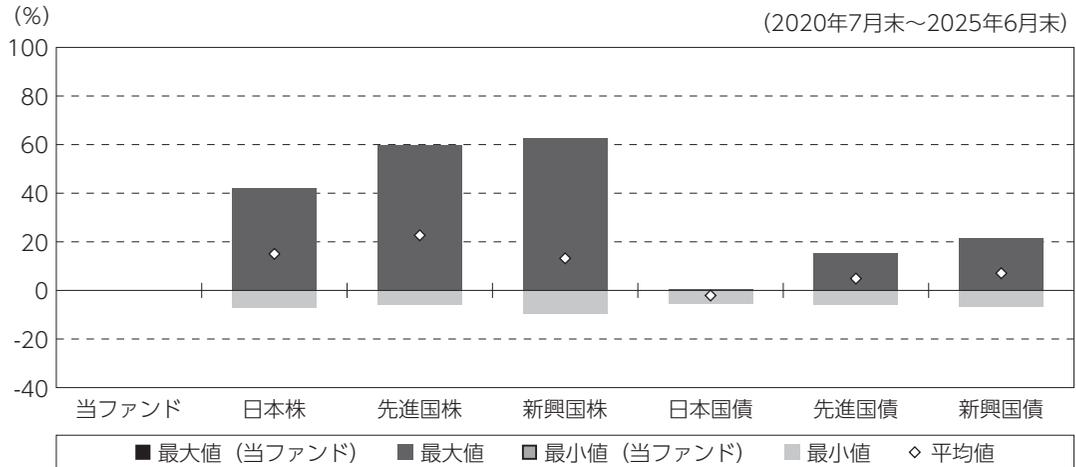
- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の記載変更を行いました。(実施日：2025年4月1日)
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2024年9月27日から2045年7月21日までです。	
運用方針	<p>投資信託証券への投資を通じて、世界の高配当株戦略の投資成果を反映したクロッキー・オール・カンントリー高配当株指数*(円ベース)のリターンを享受することを目指し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。</p> <p>※「クロッキー・オール・カンントリー高配当株指数」とは、ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法である「クロッキーモデル」に基づき全世界の株式から、高配当かつ割安と判断される株式を選定する戦略のリターンを反映する指数です。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要投資対象	当ファンド	Collis Trust-CROCI AC Dividend Equity Fundおよびマネー・リクイディティ・マザーファンドを主要投資対象とします。
	Collis Trust-CROCI AC Dividend Equity Fund	担保付スワップ取引と短期金融商品を主要投資対象とします。
	マネー・リクイディティ・マザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
運用方法	Collis Trust-CROCI AC Dividend Equity Fundにおいて、クロッキー・オール・カンントリー高配当株指数(円ベース)のリターンを享受するために担保付スワップ取引を行います。	
分配方針	<p>毎年7月23日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。</p> <p>分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。</p> <p>分配金額は、分配対象収益の範囲内で、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。委託会社の判断により、収益分配を行わないことがあります。</p>	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	-	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	-	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.0
平均値	-	15.0	22.7	13.2	△ 2.1	4.9	7.1

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年7月から2025年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、運用期間が1年未満であるため掲載しておりません。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

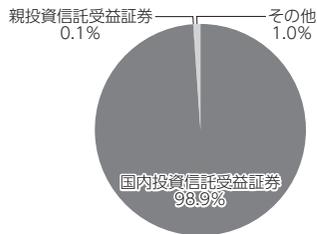
組入資産の内容

(2025年7月23日現在)

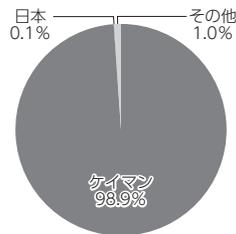
○組入上位ファンド

銘柄名	第1期末
	%
Collis Trust-CROCI AC Dividend Equity Fund	98.9
マネー・リクイディティ・マザーファンド	0.1
組入銘柄数	2銘柄

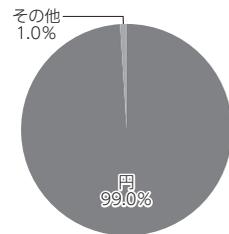
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 国内投資信託受益証券には外国籍(円建て)の投資信託受益証券を含めております。

純資産等

項目	第1期末
	2025年7月23日
純資産総額	5,667,036,564円
受益権総口数	5,645,239,970口
1万口当たり基準価額	10,039円

(注) 当初設定元本額は1,314,363,782円、期中における追加設定元本額は4,535,526,165円、同解約元本額は204,649,977円です。

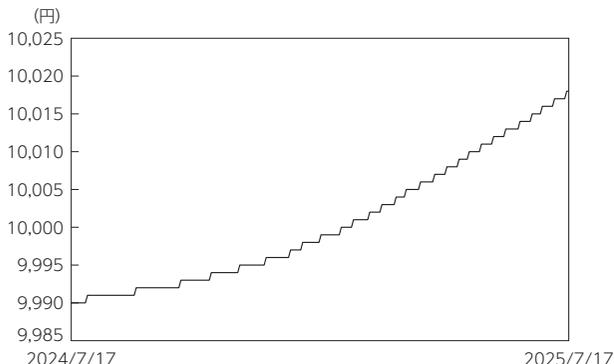
組入上位ファンドの概要

Collis Trust-CROCI AC Dividend Equity Fund

当運用報告書作成時点において、開示できる情報はありません。

マネー・リクイディティ・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年7月18日～2025年7月17日)

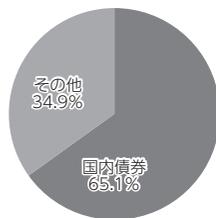
該当事項はございません。

【組入上位10銘柄】

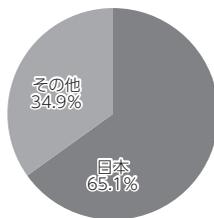
(2025年7月17日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率
1	第261回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	特殊債券	円	日本	11.3%
2	第256回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	特殊債券	円	日本	11.3%
3	第254回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	特殊債券	円	日本	9.9%
4	第1316回国庫短期証券	国債証券	円	日本	9.9%
5	第1303回国庫短期証券	国債証券	円	日本	8.5%
6	第258回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	特殊債券	円	日本	8.5%
7	第79回政府保証地方公共団体金融機構債券	特殊債券	円	日本	5.7%
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数			7銘柄		

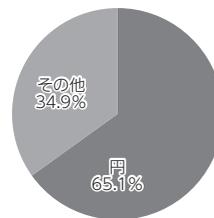
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国(地域)および国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○NOMURA – BPI 国債

NOMURA – BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。